

エネルギー教育モデル校としての取組

西京高等学校附属中学校では、経済産業省資源エネルギー庁からの委託を受けた、公益財団法人日本科学技術振興財団より、平成 28 年度から「エネルギー教育モデル校」に認定を受けています。教科（理科、社会、技術・家庭等）や課外活動等を通じて、エネルギーについて幅広く学び、生徒一人ひとりがエネルギー問題を自らの課題として理解し、現在の生活だけでなく、これからの生活のために、エネルギーに対する適切な判断と行動をするための基礎を構築することを目的としています。

これからは、この「西京 energy」通信を通して、みなさんとエネルギー・環境問題について考えていきましょう。

関西電力株式会社による出前授業

7月7日（金）に1・2年生は、エネルギーや環境問題について、「暮らしの中の電気」というタイトルで関西電力株式会社の方による授業を受けました。授業では、発電所から家庭にどのようにして電気が送られてくるかの説明を受け、地球温暖化問題や資源の有限性から省エネルギーの必要性を理解しました。そして、家庭用機器（電球・扇風機・ドライヤー）の消費電力の比較実験や実践例から、エネルギー資源を大切に使うために、みなさんができること（省エネルールを考えたり、ルールを作るなど）を全体で共有することができました。



地球温暖化問題

地球上の資源は無限ではありません。エネルギーを大量に使えば、石油などの化石燃料はいつかはなくなってしまい地球の環境も破壊されてしまいます。



消費電力の比較実験

生活をしていくためにはエネルギーが必要。今を生きるわたしたちのためでなく、将来の環境のためにエネルギー消費について考えることが大切です。



省エネルールの発表

わたしたちの暮らしは、環境に何らかの負担をかけることによって成り立っています。しかし、負担の大きさは、工夫次第で小さくすることが出来ます。

* 1年生の各クラスで考えた省エネルギー *

冷蔵庫は5秒で閉める

1年A組1班

冷蔵庫は何を取り出すのか決めてから開ける

1年A組2班

早く細めに

1年A組3班

なるべく1つの部屋に
集まる

1年A組4班

夏に30℃をこえてから
エアコンをつける

1年A組5班

バッテリーが100%に
なったら充電器のプラグをぬく

1年A組6班

冷蔵庫は5秒以内に
開け閉めする

1年A組7班

できるだけみんな
同じ部屋にいる

1年A組8班

家族が1つの部屋に
集まる

1年B組1班

しっかり目的を考えて
から冷蔵庫を開ける

1年B組2班

エアコンを自動運転で
設定する

1年B組4班

冷蔵庫を開けている
時間を3秒にする

1年B組5班

1部屋に家族が集まる
時間を増やす

1年B組3班

外出の時には電化製品の電源を
OFFになっているか確認する

1年B組6班

冷蔵庫を開ける回数を減らすため
に1回でたくさんのもを取る

1年B組7班

扇風機を使ってエアコンの
設定温度を高くしても
涼しくするようにする

1年B組8班

物を使う時は省エネでき
るかを考えるようにする

1年C組1班

特にすることがないとき
は1つの部屋に集まる

1年C組2班

冷暖房の設定温度・時間
を守る🌡28℃🌡20℃

1年C組3班

1つの部屋になるべく
集まる

1年C組4班

日中は電気を消す

1年C組5班

弱中強などの選択肢が
ある場合はできるだけ
強を使わない

1年C組7班

エアコンは32℃に
なるまで使わない

1年C組8班

使っていないものは電源
を切りコンセントをぬく

1年C組6班

一人ひとり、意識して行動する
ことが大切です。

